

## 令和2年度 摂津市立千里丘小学校 第4回 学校協議会 要点録

日時：令和2年11月16日（月）18時30分～

場所：摂津市立千里丘小学校 会議室

記録：田中健一郎（事務局 教頭）

出席委員 中田 康之、以登田 毅、佐野 英和、土田 亜美、坂本 加代子、木下 さひ子、藤浦 清美  
欠席委員 青木 みゆき、寺田 洋子  
学校出席者 校長 撰田 裕美、教頭 田中健一郎

### 1. 校長あいさつ

本日は第4回学校協議会にご出席いただきありがとうございます。

今日は暖かかったが、先週は寒かったので、11月に入り少し体調を崩す者も出てきた。換気をしないといけないので、窓をずっと開けとかなないといけない。これから寒くなった時にエアコンをつけても、教室は寒いのではないかということが気がかりでもある。

本日もご意見賜りますようよろしくお願いいたします。

### 2. 報告（9月24日）以降の学校の取組みの紹介（スライドを用いて校長より説明）

9月29日（火）・30日（水） 6年生が修学旅行を実施。受け入れ側の配慮もあり無事行えた。

10月1日（木）・2日（金） 5年生が林間学校を実施。宿泊行事が連続した理由としては、例年使用している月ヶ瀬を予約していたが、今年度は閉鎖という決定がされた。急遽受け入れていただける場所を探し、吹田市青年の家を選んだ。宿泊施設の配慮もあり、けがや体調を崩す子もなく無事行うことができた。

10月9日（金） 学力ヒアリング

児童にどのような力をつけるのか、そのための取組みや分析などを聞かれた。

10月14日（水） 5年生稲刈り体験学習 田植えができず。バケツ稲に挑戦したがうまく育たなかった。鎌を持ったことがないので、どのようにしたらけがしないかなど、農業委員に教えていただきながら実施した。自分が一食食べる分を刈る取るだけでもとても大変であることを実感、農業は大変という感想が見られた。

10月15日（木） 今年度、本校は「ともに学び・育つ」学校づくり支援事業  
府教委新規事業の指定校である。大学教授、府教委が来校。

10月21日（水） アルバム写真撮影 ネットニュースを見ると、全国的には行事が行えずアルバムを作れない学校もあると聞いた。本校は修学旅行や運動会等行事の写真が撮れた。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により印刷会社が動いていない所もあるという現状があり、完成が期限内に間に合うのかどうか気がなるところ。

10月31日（土） 運動会 前々日は気温も低く、本番どうなるか心配であった。当日は晴れたので良かったが、日陰は少し寒かった。

11月5日（木） 5年生応急手当講習 消防と連携して取り組む。市役所の様々な部署と連携した教育活動を実施してきたが、今年度は中止が続き、実施できたのはこれが初

めてである。

1 1月6日(金)

6年生赤ちゃんふれあい体験 児童は保護者の子育ての大変さがわかり、家族への感謝を感想に書いていた。

1 1月13日(金)

青少年対策委員会 前回でも情報提供があったが、今年度は不審者情報がとても多い。昼間でも出沒。新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業になってから多くなっているとのこと。

### 3. 協議

#### 1、コロナ禍で実施した運動会

(校長) 実施する上で校内で様々な事を検討した。

- ・入場門前で並ぶと密になるため、入場門・退場門を設置しない 観客席への戻り方の指導も行う。
- ・保護者の入場制限 保護者の検温、PTA 本部役員に協力いただいた。
- ・応援席 密にならないよう児童の席を間隔をあけて設置。
- ・授業時数の確保 臨時休業のための時間数確保としても、体育の時間で取り組めることを考えうる範囲で実施。
- ・分散実施も考えたが、児童に他学年の演技を見せることが大事。参加者を制限し、全児童が同時に集まれるようにした。
- ・目的に応じた指導をきちんと行うことを大切にした。実施することだけが目的ではないと考える。
- ・競技内容の変更 団体競技は密になるために行わない。団体演技と個人走のみ。
- ・集団演技 間隔をあけて密にならないフォーメーションで行う。
- ・リレー バトンの受け渡しのゾーンの指導、アウトコースから抜き去る指導をしっかりと行う。

#### 〔意見交換〕

(校長) 今年は10月31日。少し寒くなる時期となる。本校の現状として、10月3週目に地区運動会、4週目は予備としてあけている。気温等を考えると、この4週目に設定できたらと考えるが、なかなか厳しい現状である。

また、今年は午前中で終わったが、メリハリがあってよかったと感じている。今後は午前中で終わる内容ではどうかと考える。

(委員) 運動会を土曜日にするのが決まりなのか？

(校長) 小学校の流れとしてこれまでは土日にしてきた。保護者が参観しやすいというメリットがある。

(校長) 10月4週目というのは地域はなかなか譲れないでしょうか。

(委員) お弁当の問題があるのでは。各自治会でお弁当を配っている。今予約を行っている業者は、雨が降っても翌週に行えたらキャンセル料がとられない。自治会がこだわる理由はそこかもしれない。

(校長) 5週目を予備日にしてもらおうということも難しいか。

(委員) 寒さは年寄りの方がこたえますから。雨が降ったら中止にできたらいいのかもしれませんが。

(委員) 自治会を口説くのは難しいのであれば、春の開催と考えてはどうか。

(校長) 実施している学校も摂津市ではある。今年は無理だったが、去年は春に実施している。

(委員) 春も暑くて熱中症もあるみたいですが大丈夫でしょうか。

(委員) 6月くらい？先生方にご負担がかからないようにということを前提とするが、クラス替えがあって一つ目の行事としてするのもクラスをまとめるにはよいのではないか。

来年の地区運動会ができるのかどうかということは今の段階ではわからない。今の流れで行くとお年寄りが多いため、なかなか難しいと思われる。

(委員) 鳥飼西小では来年度も地区運動会は中止となった。それを早く決めてくれたので予定をたてやすい。

(委員) 前田会長、寺田会長、高田会長の3人が決められるから。なかなかすぐには解決できないのではないかな。

(校長) 今年の運動会の内容はどうか。低学年も集中してできたので時間的にもちょうどよかったのではないかと考えている。

(委員) 今までの玉入れやらがらないのですね。

(委員) 練習時間や子どもの状況を考えると、午前中にコンパクトにしていく方がいいのではないですか。

(校長) これから児童数が増えていくということも考えるといいのかもしれませんが。

(委員) 児童会競技などはふだんの集団遊びの中でもできるチャンスはあるから運動会でやることにこだわる必要はない。

(校長) 保育園は今年はされましたか。

(委員) 小学校と同じように、感染予防の徹底と保護者制限を行い、競技内容も再検討して実施した。今までたくさんやりすぎていたので、見直すいい機会ではあった。

## 2. 府教委訪問 「ともに学び・育つ」学校づくり支援事業

(校長) まずは特別支援に関わるリーダーの育成を目指す。また、府下7校の指定校で実践し、実践事例を府に提供する。三島では彩都西小と本校の二校のみ。

2月17日に市内に向けて取組みの発表を行う。

課題としては、通常学級とどう連携していくか。支援学級だけでなく、通常学級でもどこでも生かせるために学ぶ必要を感じている。また、若い先生が増えてきているので、一緒に取り組むことで育成を図っていく。

(委員) 支援学級の児童も障がいに応じて通常学級にいたり支援学級にいたりするのか。

(校長) 特性に応じてどのように学習するかを決めています。

## 3. 学校自己診断アンケート

(校長) 学校自己診断アンケートについて、11月末までには各家庭に配付をして回収をしたいと考える。

大阪府が示しているものを基本とし、今年度の現状に合わせた項目に変えている。コロナ禍におけるアンケートとして質問内容がこれでよいのかということも考えた。ご意見をいただきたい。

### 〔意見交換〕

(委員) 児童の4番の項目で、「あなたが・・・」という聞き方だが、4番はそのクラスでの取組みに関わってくる。あなたが楽しかったか、一生懸命取り組んだかどうかの積極性を問う方がよい。意欲関心を聞く形の方がよい。

(委員) 生活習慣と言われたが、児童の19番の睡眠時間は足りているか、は個人の感覚によるので、例えば睡眠時間は8時間取っていますか、と具体的に聞いた方がよい。学年によっては違いもあるが。

(校長) 保護者の立場で書きにくいところはないか。

(委員) 特にはない。話はずれるが、児童の26番の質問項目にはいと答える子は、どんな場面か聞いてみたい。

- (委員) 秘密を守ってくれていますか、という質問は、そういったシチュエーションがない子はどう答えたらよいか。
- (委員) 秘密がない子はどっちにつけるか。
- (委員) アンケートの回答は保護者へは各家庭に一枚ですか。こどもが二人いても、一枚？
- (校長) 各家庭に一枚です。
- (委員) 自身の子どもの想像すると、上の子は宿題はするけれど、下の子は・・・、とか兄弟でも違う。
- (委員) 兄弟が多いところには、たくさん配るのは負担ということもあるのではないかな。
- (委員) 児童28番の「授業などでコンピューターやタブレットを使っていますか」というのは、クラスによって使う頻度が高い低いの違いがあるから聞くのか。
- (委員) 使っているのなら、それを使うことによって有意義かどうかを聞いた方がよいのではないかな。
- (委員) よく使うか、という聞き方なら主観ですが、クラスで使っていますか、では、全員回答が同じになりますよね。
- (委員) 使っているかどうかは、教職員の40番を見ればわかる。何を聞きたいのかを考えたほうがよい。
- (委員) 教員が考えていることと、子どもとの認識のずれがある場合もありますしね。
- (委員) タブレットという文言が入ったのですね。
- (校長) iPadが全学年に配備されたので。まだ、持ち帰ったりはしていない。その前にリテラシーをしっかりと考えてからの持ち帰る予定である。
- (委員) 1年生のクラスなどマスクを下げている児童も見受けられる。担任の先生の声かけが必要ではないかな。第3波が来ているので再度徹底をしていただきたい。

次回、12月21日(月) 18時30分～ 第5回学校協議会